

- #2807 TMS (タイヤ・マネージング・システム)
カップタイプウオーマー付(直径65mm) ¥19,800<外税>
- #2809 TMS (タイヤ・マネージング・システム)
ベルトタイプウオーマー付 ¥19,800<外税>



TMS タイヤマネージングシステム インストラクションマニュアル



この度は、Eagle Racing・TMSタイヤマネージングシステムをお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
この日本語説明書をよくお読み頂き、取扱方法と注意事項を十分に理解した上でお使いください。
※TMSタイヤマネージングシステムの対象年齢は、14歳以上となっております。
※商品のスペック・仕様、デザイン等は予告なく変更される場合がございます。ご了承下さい。

TMS タイヤマネージングシステム

タイヤマネージングシステム(以後TMS)は、1/10サイズのタイヤ用に開発された最新マイクロプロセッサを搭載したタイヤ温度管理システムです。現在市販されているユニットに対し、メジャードライバーからのタイヤウオーマーへの更なる要望をフィードバックさせ、レースにおける機能性を追及し、イーグル開発チームが24ヶ月かけここに完成しました。
TMSの便利な機能と使いやすさは、今後レーサーに欠かすことが出来ないエクイップメントの1つとなります。

スペック/特徴

ケースサイズ:W160 x L120 x H63mm
本体重量:約480g
ウオーマーケーブル:500mm
前後独立制御タイヤウオーマー
前後独立ウオーマー出力端子
セカンド(カー2)・タイヤウオーマー用端子
(オプションタイヤウオーマー用)
4コントロールキー
カースタンド機能
(強力デュアル・クーリングファン)
ブルーLCDディスプレイ
4個独立ブルーLED
12V入力(12V入力ケーブル:1200mm)
7.2Vバッテリー対応<タミヤ型コネクター付>
(サブC Ni-MH/Ni-Cd 6セル7.2V、Li-Po 2セル7.4V対応)
充電モード/ウオーマーモード切替スイッチ

主要機能

- ◆クイックウオーミング
- ◆カー1用 2ステップ・モード
- ◆カー1用 3ステップ・モード
- ◆カー2用 2ステップ・モード
- ◆デュアル・クーリングファン

特徴

- ◆1Cによる4本独立での温度管理機能(2台同時制御)
- ◆前後別の温度に設定が可能(20~80/100°C)
- ◆4LEDによる加熱状況表示
- ◆最低温度設定が可能<保温機能>(OFF/20~80/100°C)
- ◆軽量設計のカースタンドタイプ
- ◆強力デュアル・クーリングファン(ON/OFF)
- ◆7.2Vバッテリーパック内蔵可能(別売)
- ◆摂氏/華氏の温度表示切替
- ◆8種類のビーブ音を選択可能(OFF/8種類)
- ◆バックライト明暗(OFF/5/10/15sec/forever)
- ◆コントラスト設定機能(0~100%)
- ◆バッテリーを内蔵したままでの充電可能な端子を装備
- ◆電圧低下時にはディスプレイ表示にて警告

オプションアイテム

- | | | |
|-------|---|------------|
| #2810 | タイヤウオーマー・カップタイプ (1/10レーシング用)
(直径65mmカップ) TMS専用 | ¥5,980<外税> |
| #2812 | タイヤウオーマー・ベルトタイプ
TMS専用 | ¥5,980<外税> |
| #1985 | PL1 非接触型温度計 | ¥8,800<外税> |

内容物

- ・TMSコントロールユニット×1ヶ
- ・TMSタイヤウオーマー×2ヶ
- ・12V入力ケーブル×1ヶ

各部名称

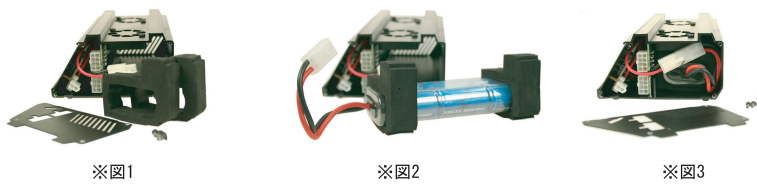


1. 使用前の準備

本機は12V(DC)もしくは、7.2V(DC)バッテリーを電源とします。パワーサプライ(安定化電源)/12Vシールドバッテリーをご使用いただく場合は、付属の12V入力ケーブルで電源と本機を接続します。バッテリーを電源とする場合は、「2.」のバッテリーの装着方法の項目をご参照下さい。
次に、ウオーマーカップをコネクターの向きに気をつけて、カー1のフロント/リアそれぞれに接続します。(この時コネクターのツメがしっかりとつかむように奥まで押し込んで下さい。)これで、使用前の準備は完了です。

2. バッテリー装着方法

- ☆ユニット内蔵バッテリー電源(バッテリー別売)でのウォーミングは、「レース直前までタイヤを温めておきたい時」等、ピットを離れての使用に最適です。(※サブC Ni-MH/Ni-Cd 6セル7.2V、Li-Po 2セル7.4V対応。 ※内蔵バッテリー電源でのウォーミングは、基本的には1台での使用をお勧めします。)
1. 右側プレート上の4本のネジを緩め、サイドプレートを取り外してください。中からスポンジフォームを抜き取ります。(図1)
 2. フォームをお持ちのバッテリーパックを挿入します。収まらない場合は、必要に応じてカッターナイフ等で不要部分を切り取ってください。(図2)
 3. TMSへバッテリーパックをゆっくり挿入し、本体内部のコネクターに繋ぎます。(図3)
 4. 右側プレート上の穴をネジ穴に合わせ、4本のネジをもと通り締めてください。(セルフタッピングスクリューを使用しているため、締めすぎにご注意ください。)

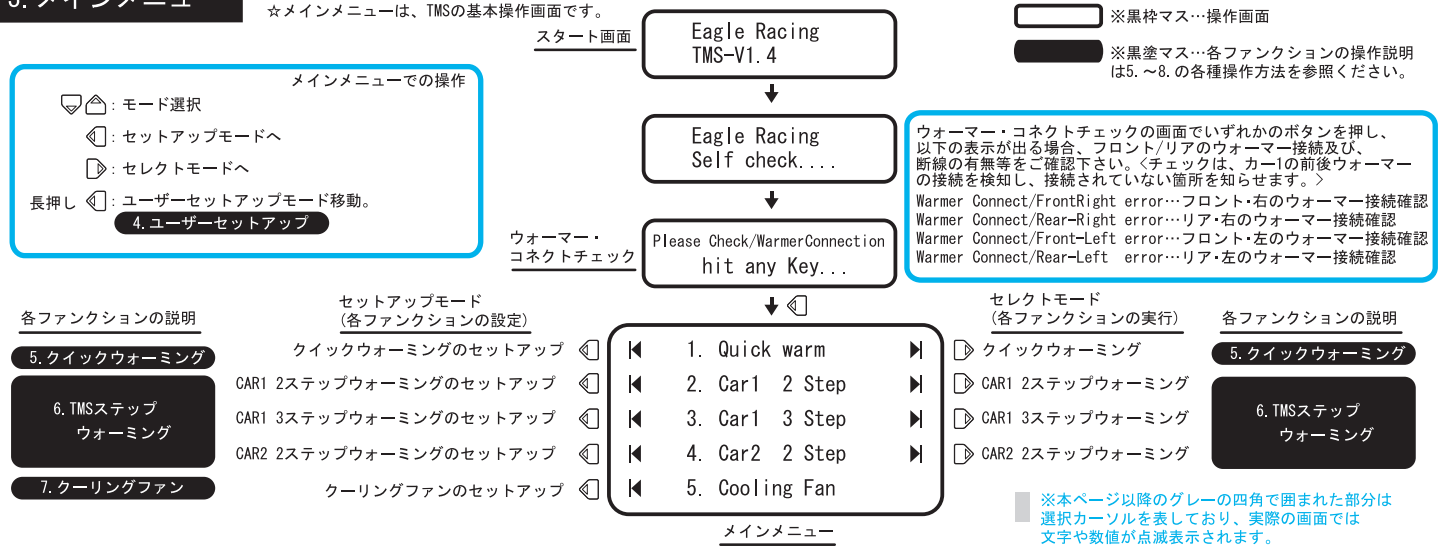


※ユニット内蔵バッテリーパックの充電方法
内蔵のバッテリーパックを充電する時は、本体前面の充電モード/ウォーマーモード切り換えスイッチをCharge mode側に切り替えてください。
左側プレート上のバッテリー充電用端子「Battery charging input」に7.2Vバッテリー用充電機を接続し、充電します。

注意：
※7.2Vバッテリーを電源にしてウォーマーを使用する時以外は、スイッチを「Charge mode」側に倒しておいてください。
※TMSの保管時は、バッテリーの接続コネクターを本器から外しておいて下さい。
※「内蔵バッテリー充電用端子」を使ってリポバッテリーを充電しないで下さい。(リポバッテリーを充電する場合は、必ずバッテリーをウォーマーコントロールローラーより取り出して、バッテリーに付属の取り扱い方法を守って充電や管理をしてください。<本器にはリポカットオフ機能等は付いていません。>)

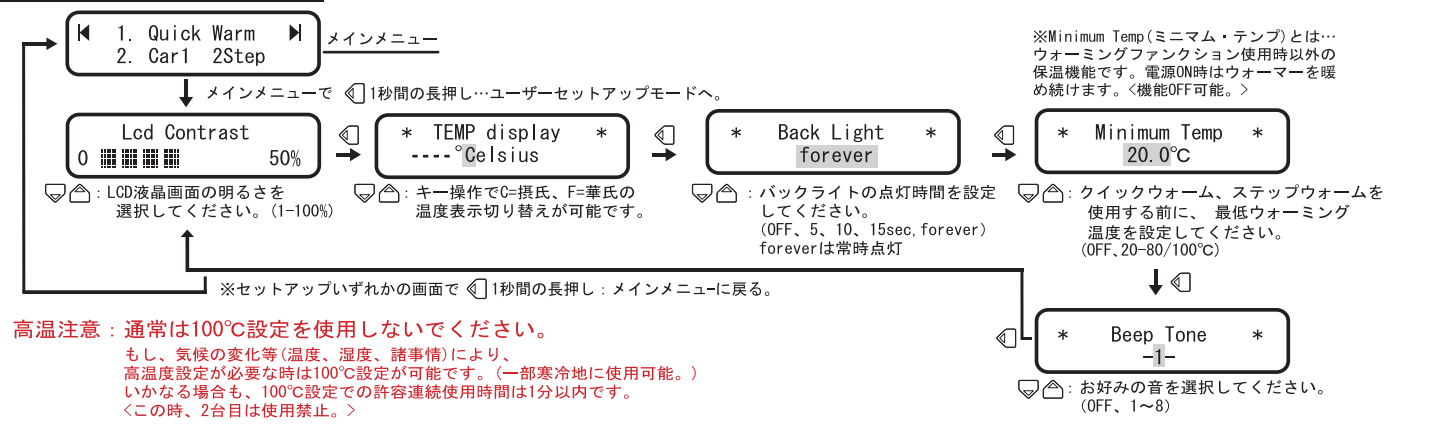
3. メインメニュー

☆メインメニューは、TMSの基本操作画面です。



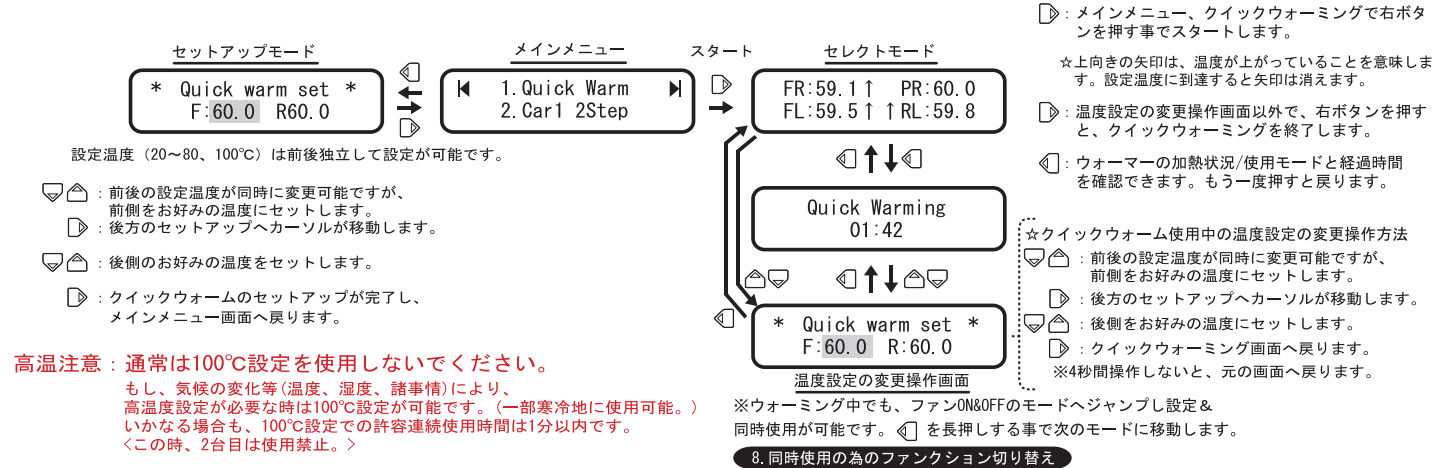
4. ユーザーセットアップ

☆各種設定をお好みの値に調整することができます。



5. クイックウォーミング

☆このモードは、シンプルな操作で簡単にタイヤをウォーミングアップするのに最適なモードです。素早くスタートが出来、ウォーミング中に温度設定を変更することも出来ます。



6. ステップウォーミング

☆ステップウォーミングには、CAR1 2ステップウォーミング、CAR1 3ステップウォーミング、CAR2 2ステップウォーミングの3種類のウォーミングがあります。CAR1は、メインのRCカーに使用します。CAR2はTカー用に大変便利です。2ステップまたは、3ステップによりタイヤを暖めることができます。タイヤに違った種類のグリップ剤を使用する場合や、時間を追って変化させたウォーミングを行うのに大変便利です。3ステップは、よりシビアなタイヤセットアップに対応するためのモードです。

高温注意：通常は100℃設定を使用しないでください。

もし、気候の変化等(温度、湿度、諸事情)により、高温設定が必要な時は100℃設定が可能です。(一部寒冷地に使用可能。)

いかなる場合も、100℃設定での許容連続使用時間は1分以内です。この場合、2台目は使用禁止。>

※3ステップモードも同様で
もう1ステップ増えます。

☑️🏠: 1/2ステップのウォーミング時間を設定してください。(設定時間:01~60分)

👉: 次のセットアップへ進みます。

☑️🏠: 前後の設定温度が同時に変更可能ですが、前側をお好みの温度にセットします。(1/2ステップ時の前側温度設定)

👉: 次のセットアップへ進みます。

☑️🏠: 後側の温度を変更します。(1/2ステップ時の後側温度設定)

👉: 次のセットアップへ進みます。

☑️🏠: デイレイタイム(1から2ステップの待機時間)を設定します。(設定時間:00~60分)

👉: 次のセットアップへ進みます。

☑️🏠: 2/2ステップのウォーミング時間を設定してください。(設定時間:1~60分)

👉: 次のセットアップへ進みます。

☑️🏠: 前後の設定温度が同時に変更可能ですが、前側をお好みの温度にセットします。(2/2ステップ時の前側温度設定)

👉: 次のセットアップへ進みます。

☑️🏠: 後側をお好みの温度にセットします。(2/2ステップ時の後側温度設定)

👉: セットアップが完了です。メニュー画面へ戻ります。

☑️🏠: FR:58.9 ↑ ↑ PR:59.4
FL:59.1 ↑ RL:60.0

※上記破線 --- 以下の画面において、ウォーマー温度と加熱状況表示を確認できます。もう一度押すと戻ります。

※上記破線 --- 以下の画面において、デイレイタイム以外の画面で 👉 を押すと、ステップウォーミングを強制終了させます。

メインメニュー

◀ 2. CAR1 2Step ▶
▶ 3. CAR1 3Step ▶

セットアップモード

1/2 20Minutes
F:60.0 R:60.0

1/2 20Minutes
F:65.0 R:65.0

1/2 20Minutes
F:65.0 R:68.0

1/2→2/2 Delay
01Minutes

2/2 10Minutes
F:60.0 R:60.0

2/2 10Minutes
F:55.0 R:55.0

2/2 10Minutes
F:55.0 R:58.0

※ウォーミング中でも、カー1からカー2としてファンON&OFFのモードへジャンプし、設定&同時使用が可能です。👉を長押しする事で次のモードに移動します。

8. 同時使用の為のファンクション切り替え

セレクトモード

* Start delay *
01Minutes

Auto Start Timer
00:57

1/2 Timeleft C1
05:35

1/2→2/2 Timeleft
01:27

2/2 Timeleft C1
05:35

EAGLE 2Step C1
Done 00:30

☑️🏠: オートスタートタイマーをセットしてください。(設定時間:00~60分)

※そのままスタートしたい場合は00分を入れ 👉 を押し、スタートします。

☑️🏠: カウントダウンがスタートし、設定した時間が経過すると、ウォーミングがスタートします。

👉: 必要な場合、スタートタイマーのカウントダウンをスキップします。

☆1/2ウォーミングがスタートし、残り時間が表示されます。

☆1/2→2/2間のデイレイタイムの残り時間を確認できます。デイレイタイムを00分に設定した場合、すぐに2/2ステップが開始します。

👉: 必要な場合、1/2→2/2デイレイタイムをスキップします。

☆2/2ウォーミングがスタートし、残り時間が表示されます。

※3ステップモードも同様で
もう1ステップ増えます。

☆ステップウォーミングが終了しました。終了してからの経過時間を表示します。

☆ステップウォーム使用中の温度設定の変更操作方法
1/2 Warm Temp C1
F:65.0 R:68.0

☑️🏠: 上記破線 --- 以下の画面において、上下ボタンを押すと、温度設定画面に移行します。前後の設定温度が同時に変更可能ですが、前側をお好みの温度にセットします。

👉: 後方のセットアップへカーソルが移動します。

☑️🏠: 後側をお好みの温度にセットします。

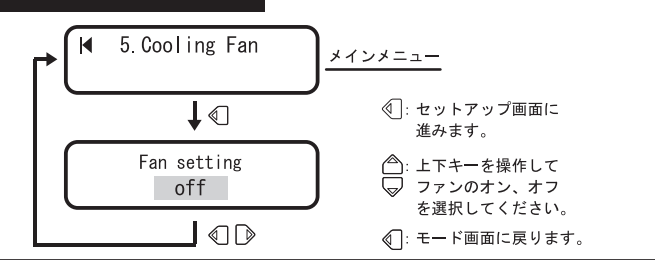
👉: ステップウォーミング画面へ戻ります。

※4秒間操作しないと、元の画面へ戻ります。

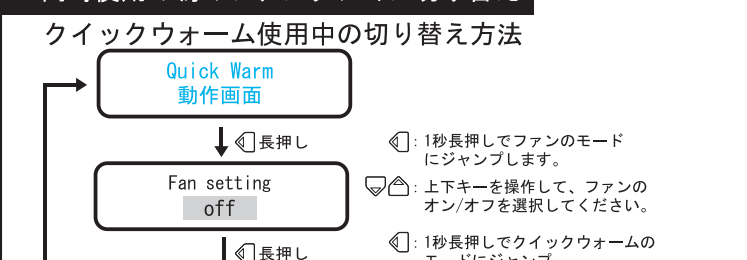
※上記表のオレンジ破線のカッコ(ステップごとに設定したウォーム温度適用範囲です。途中で変更することができます。変更の仕方は上記の記述を参照下さい。)

①...1/2ウォーム温度設定適用範囲です。
②...2/2ウォーム温度設定適用範囲です。

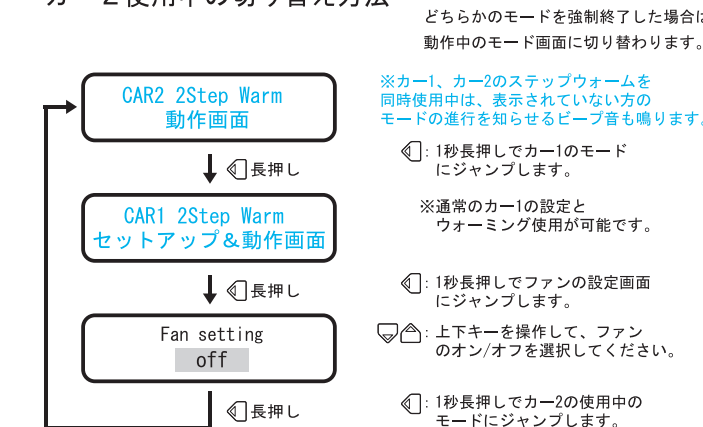
7. クーリングファン



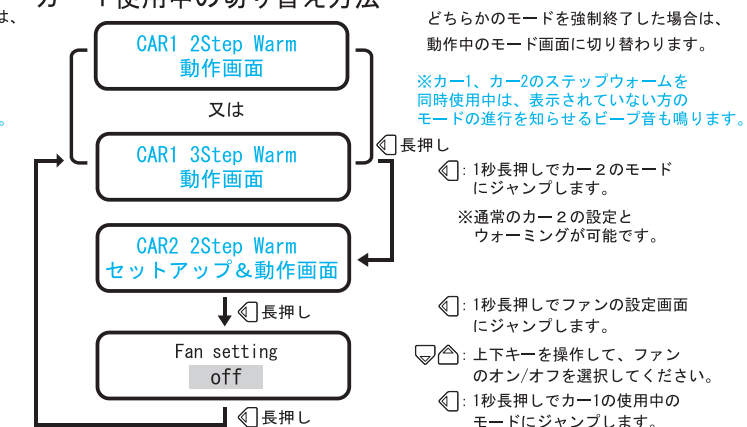
8. 同時使用の為のファンクション切り替え



カー2使用中の切り替え方法

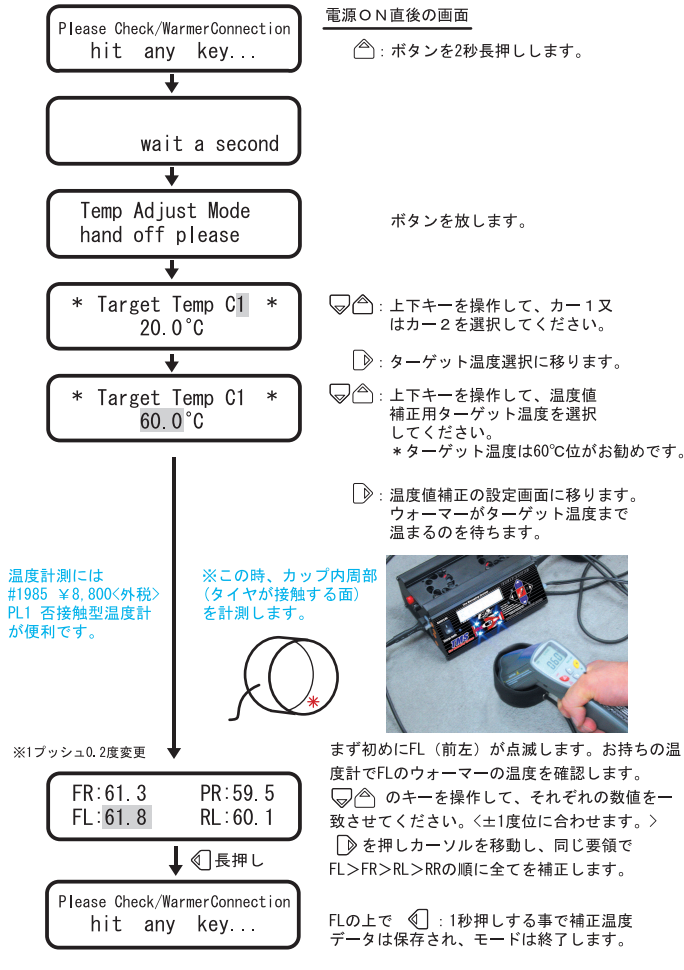


カー1使用中の切り替え方法



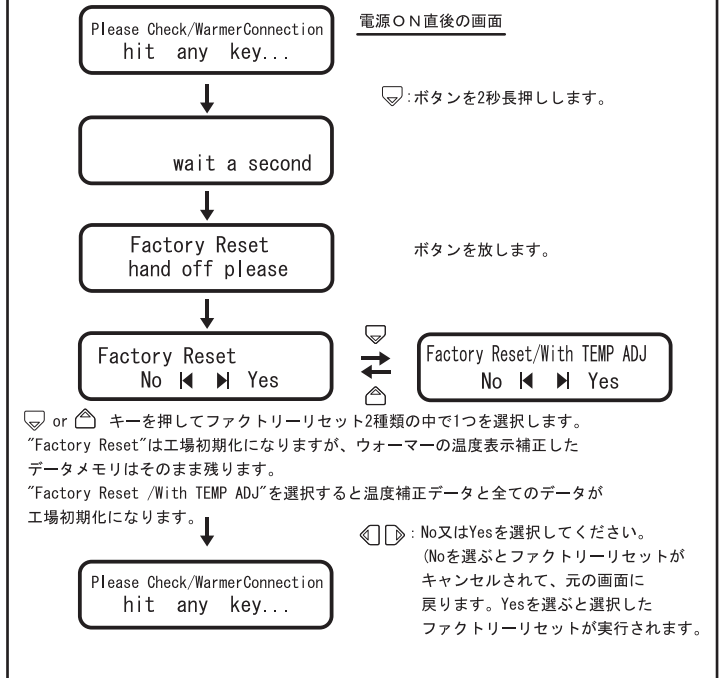
9. 温度表示補正

☆タイヤウォーマーの表示温度値を補正することができます。
 タイヤウォーマーを変えた時、ウォーマーの実際の温度(温度計で計測)とTMSのディスプレイ表示温度が違う場合は補正が必要となります。
 ※カー1、カー2は別々に温度表示補正できます。



10. ファクトリー設定に戻す

☆すべての設定値を元に戻す場合は下記の方法でリセットを行います。



11. ブルーLED表示の意味

フロントパネルの4つのブルーLEDは、前後左右のタイヤウォーマー個別の加熱状況を表示しています。

ブルーLED点滅…「ウォーマー加熱中」を表しています。
 設定温度に達するまでウォーマーを加熱し続けます。

ブルーLED点灯…「ウォーマーが設定温度に到達」を表しています。
 <この間ウォーマーには電流を流していないので、しばらくするとウォーマーの温度は下がり始めます。>

ブルーLED消灯…「ウォーマーが設定温度に未到達、なおかつ加熱中でない」を表しています。

※全てのウォーミングモードにおいて、ウォーミング中はブルーLEDの点滅(加熱)→点灯(設定温度到達)→点滅→点灯を繰り返し、設定温度をキープするようになっています。

<エラーメッセージ>
 ☆もし、ウォーマー使用中に以下のエラーメッセージが出たら、右の項目を確認して下さい。

" Low voltage" …入力電圧が6.5Vよりも低くなっています。
 入力電源を確認して下さい。もしくは、バッテリーを電源に使用しているのであれば、バッテリーを充電して下さい。

" Please check warmer connection " …ウォーマーが適切に接続されていません。もしくは、ウォーマーのワイヤーが断線しているか、ダメージがあります。

FR:60.0 ↑PR:DC
 FL:60.0 ↑RL:DC

画面に「DC」と表示されたときは、ウォーマーの接続を確認してください。
 左図のような画面では、後方部のウォーマーコネクタの接続不良か、ウォーマーワイヤーが断線している可能性があります。

<重要>
 TMSタイヤマネージングシステムを取扱う際は細心の注意が必要です。本器をご使用いただく際は、以下の注意書き内容を十分に理解した上でご使用ください。
 また以下の注意書きに従わない場合は、火傷や火災の原因となる危険性があります。ご使用前には、必ず十分な知識を得てから、ご使用頂きます様にお願致します。
 (ウォーマーは設定値次第で、大変高温になる為、しっかりと管理が必要です。)
 株式会社イーグル模型は、本器の使用に起因するいかなる対人対物事故、損害、破損について一切の責任を負いません。

<注意>
 ※本器をRCカーのタイヤウォーミング以外の用途に使用しないで下さい。
 ※通常は100°C設定を使用しないでください。
 もし、気候の変化等(温度、湿度、諸事情)により、高温設定が必要な時は100°C設定が可能です。(一部寒冷地に使用可能。)
 いかなる場合も、100°C設定での許容連続使用時間は1分以内です。<この時、2台目は使用禁止。>
 ※本器使用中は異常が無い常に監視し、そばを離れないで下さい。TMS及び、ウォーマーから燃性のあるものを避け、安全な場所でウォーミング作業をしてください。
 ※設定したウォーミング時間が経過しても、ウォーミングが終了しないと気がついた時や異常に気づいた時は、至急電源コードを抜いて止めて下さい。
 ※本器を使用していない時は、必ず内蔵バッテリーをTMS本体から取りはずして下さい。(コネクタを抜いておく)
 ※本製品はおもちゃではありません。絶対に14歳以下の子供に使用させないで下さい。また子供の手の届かない所で保管・使用して下さい。
 ※本器にいかなる改造も加えないで下さい。(入出力コード、コネクタの変更等)
 ※本器のショート、逆接をしないよう十分気をつけて使用してください。ユニットが壊れます。
 ※タイヤウォーマーの設定温度が高すぎたり、加熱時間が長すぎる事でタイヤやホイール等のウォーマーに触れている部分が変質・変色・破損する場合があります。
 使用する環境・用途に合わせて、設定温度や加熱時間を変更して下さい。

☆保証規定☆
 製品は製造後、検査機器によって厳しいクオリティーチェックを行い、動作確認をした後に出荷されておりますが、万が一以下のような不具合が見られる場合、ご購入頂きました販売店様を通し、弊社までご連絡を頂きますようお願い申し上げます。
 初期不良(本来使用すべき部品が使われていない事や、本体の組立て不良による不具合等)が確認できる場合、お買い求めから3ヶ月間、保証対応させて頂きます。
 この際、お買い求め時のレシートが必要となります。(必ずレシートを保管してください。)
 改造の加えられた製品・使用後の破損や使用劣化等による不具合は、保証対象外・有償修理となります。有償修理には、便利で迅速対応可能なリプレスサービス(新品交換)があります。リプレスとは、故障のTMSをイーグルに返却頂き、リプレス代金をご負担頂くことで、新品のTMSと交換が可能です。
 ※リプレス代金等の詳しい内容に関しては、弊社WEBサイトの「修理について」の項目をご参照ください。